**2024年3月27日**

**富士フイルムグループ、来場者に「Discover the difference（他社との違いを発見）」していただくべく、drupa 2024への出展を発表**

*今年、drupa史上最大となる富士フイルムブースで、富士フイルムグループの印刷技術（アナログからデジタル、トナーからインクジェット、プリントヘッド、インク、ソフトウェアまで）を展示する予定です。*

富士フイルムグループは、本日、ドイツのデュッセルドルフで5月28日から6月7日まで開催される、drupa 2024に出展することを発表しました（Hall 8b / A02）。

8年ぶりの開催となる展示会で、富士フイルムグループは、印刷産業の企業に価値を付加し、富士フイルムと「他社との違いを発見」していただけるように、信頼できる持続可能なパートナーとしての存在感を示します。

2023年4月1日、富士フイルムグループは、グラフィックコミュニケーション事業部を富士フイルムビジネスイノベーション株式会社に統合しました。これにより、同社は、他社の追随を許さない技術リソースを構築するだけではなく、世界全体に広がる顧客基盤を構築し、市場でも指折りの製造・サービス・サプライシステムを手中に収めることができました。こうした動きにより、富士フイルムは、アナログオフセット印刷から、インクジェットトナーとドライトナーを併用するデジタル印刷へ、そしてワークフローソフトウェアを使用したDXソリューションまで、グローバル統合ソリューションベンダーとして独自の地位を築き上げました。

富士フイルムグループは、新しいビジネス体制の下、展示会史上最大の面積を誇る2,420 m2のブースを予約しました。富士フイルムグループは、過去に前例のない規模の製品ポートフォリオを展示する予定です。さまざまなお客様のニーズに合わせて、実用的な生産プロセスの改善から根本的なビジネスモデルの転換まで、製品、ソリューション、テクノロジーを提供できる会社であることを証明します。富士フイルムグループが提供する価値の「違い」をお客様が体験できるように、幅広いソリューションを展示します。

**展示エリアの概要**

1. **商業エリア**

「**Jet Press 750S**」に関する最新の詳細を展示します。この印刷機は、10年以上にわたり、独自のインクジェット技術によって実現される比類ない印刷品質が高く評価されてきました。このエリアでは、「**Revoria Press GC12500**」にも注目です。この印刷機は、ドライトナーを採用することで、優れた用紙対応力と高いユーザビリティを誇ります。2機種のB2デジタル印刷機に加え、商業印刷市場向けのフルカラー高速連続給紙インクジェット印刷システムの「**Jet Press 1160CFG**」が初披露される予定です。さらに、2機種のミッドレンジ・プロダクションプリンターも初お目見えします。この新しい印刷機は、特殊カラーと多種多様な印刷用途が特長の傑作機「**Revoria Press PC1120**」をベースに開発され、こちらも商業エリアの目玉となるでしょう。富士フイルムのフォトグラフィック製品の展示に加え、オフセット印刷用の新しい無処理プレートや、ワークフローソフトウェアにより自動化と効率化を実現するためのDXソリューションも要注目です。 サードパーティ製仕上げ装置を取り入れることで、富士フイルムの技術で多種多様な印刷用途が可能になることを証明します。

印刷産業では、アナログからデジタルへの転換トレンドが今後も続きます。富士フイルムグループは、お客様が印刷技術を転換する過程で持続可能なパートナーとしてサポートします。

1. **産業エリア**

最近発表された、水性インクを使用するインクジェットデジタル印刷機「**Jet Press FP790**」を展示します。これは、フレキシブルパッケージ印刷プロセスにイノベーションをもたらし、当社のハイブリッドワイドフォーマット印刷機に新たな自動化オプションを提供し、生産能力をさらに高めることができる印刷機です。この機種と並び、富士フイルムの輝かしい受賞実績を誇るAcuityワイドフォーマットインクジェット印刷機シリーズや、富士フイルムグループの最新技術によって実現される多種多様な印刷用途（サイネージやパッケージを含む）も展示されます。

標準印刷機では需要を満たすことができないお客様のために、当社では、FUJIFILM Integrated Inkjet Solutionsにより、カスタマイズされた印刷装置やインクをご提供しています。ダイレクトメール、トランザクション印刷、ラベル、装飾物などの多種多様な印刷用途に関するケーススタディを展示し、当社のこれまでの実績を証明します。

重要なインクジェット技術要素として、安全面を最優先して環境に配慮した新しい水性インク「Aquafuze」技術を展示します。この革新的なインク技術は、UVインクと溶剤インクの機能をすべて取り入れながらも、水性インクであるため、お客様の印刷ジョブの拡大や作業環境の改善に貢献します。

デジタル化によりインク配合の多様化に拍車がかかる中、高い安定性で色素を拡散する「RxDシリーズ」も展示します。インクジェットシステムの高速化や、印刷基材との適合性の拡大を求める声がますます大きくなる中、このシリーズはそうした需要に応えるインク配合設計をサポートします。

さらに、幅広い印刷用途で多目的性に対応する新しいプリントヘッド製品を発表する予定です。

新しい富士フイルムグループ環境戦略も発表されます。これには、デジタルオンデマンド印刷の採用によるショートランプリント、無処理オフセット印刷プレート、カーボンニュートラル生産施設、リサイクルイニシアチブなどが含まれます。

富士フイルムグループは、今年創立90周年を迎え、新しいグローバル目標として、「地球上の笑顔の回数を増やしていく（Giving our world more smiles）」も発表しました。drupa 2024で、富士フイルムグループは、他社との価値の「違い」を提供し、最終的に世界中をもっと笑顔にすることができる企業であることを証明する所存です。皆様のご来場をお待ちしております。

**記**

**富士フイルム株式会社について**

富士フイルム株式会社は、富士フイルムホールディングスの主要事業会社です。1934年の創業以来、フォトイメージングの分野で数多くの先端技術を開発してきました。現在はトータルヘルスケアカンパニーとして、これらの技術を医療・ライフサイエンス分野に応用し、「予防」「診断」「治療」の3領域で幅広い事業を展開しています。また、フラットパネルディスプレイの材料などの高機能材料事業や、グラフィックシステム事業、光学デバイス事業にも注力し、拡大を図っています。

**富士フイルムグラフィックコミュニケーション事業部について**

富士フイルムグラフィックコミュニケーション事業部は、印刷会社の頼れる長期的パートナーとしてビジネスの拡大を支援するために、質の高い高度な印刷ソリューションを提供することに重点を置いた組織です。安定した財政と研究開発への多大な投資により、業界トップクラスの印刷を可能にする独自技術を開発しています。 こうした技術には、オフセット印刷、ワイドフォーマット印刷、デジタル印刷用のプリプレスとプレスルームソリューション、印刷生産管理用のワークフローソフトウェアなどがあります。富士フイルムは、自社の製品や事業活動による環境への影響を最小限にとどめるための対策や環境保全に積極的に取り組んでいます。また、印刷会社に環境保全のベストプラクティスを周知することにも注力しています。詳細については、[fujifilmprint.eu](https://www.fujifilm.com/uk/en/business/graphic)または[youtube.com/FujifilmGSEurope](http://www.youtube.com/FujifilmGSEurope)をご覧いただくか、@FujifilmPrintをフォローしてください。

**お問い合わせ先**

Daniel Porter

AD Communications

Eメール：dporter@adcomms.co.uk

Tel： +44 (0)1372 464470